

2018 年 11 月定例自然観察会実施報告書

2018 年 11 月 25 日

1 班 池内 清

1. 実施日：2018 年 11 月 11 日（日）9:35～15:00 晴
2. テーマ：菊水山で秋を楽しむ
3. コース：神鉄鈴蘭台駅～菊水山～神鉄鈴蘭台駅
4. 参加者：ビジター 38 名、会員 35 名（うち 1 班 13 名）
〈11 月 4 日の自主研修会の参加者は 33 名（うち 1 班 12 名）〉
5. 配布資料：観察会ルートマップ
6. 説明リーダー：池内、上原、井上（信）、青木、堀池
会員説明は木下

7. 概要と感想：

集合場所とした神鉄鈴蘭台駅は、改札口が 3 階にあり、集合できる駅前広場がないため、改札前に会員が立って到着した人を順に 15 分ほど離れた受付へ誘導した。

菊水山は、頂上付近が六甲全山縦走のコースに入っており、混雑が心配されたが、天候にも恵まれ、縦走者は早めに通過しており、トラブルはなかった。

また、カラスザンショウやヌルデ、ハゼノキなどの実を狙って色々な鳥が集まるため、観鳥のメッカにもなっており、野鳥観察グループとの遭遇も懸念していたが、幸い数日前に鳥たちは移動していたようでこの日は、鳥の観察者の姿は見当たらなかった。

今回のコースは、菊水山の北面にある、NTT の管理車道を利用するもので、距離は 2.5 km 程、道幅 4 m ほどの舗装された道である。たまに通過する車にさえ気を付ければスロープは緩やかで、安心して観察に集中できた。

受付けと同時に班分けし、ビジター 5 班と会員の 6 班編成とした。最終の参加者の到着を待って、当日の予定や、注意事項を伝達し準備体操をしてから観察を開始した。

今回のテーマは「秋を楽しむ」であったが、主として「実のなる木」と「紅葉する木」そして「よく似た木」も紹介した。

ゴンズイ

「実のなる木」としては、赤い実をつけるコバノガマズミ、ミヤマガマズミ、ガマズミ、ゴンズイ、マユミ、センリョウ、マンリョウ、アオキ、シロダモなどが見られ、青から紫の実をつける、クサギ、ヤブムラサキ、ムラサキシキブ。黄葉する木としては、菊水山では特に多くみられるのがタカノツメで、親木もさることながら実生の低木が多数みられ、コシアブラも混じる、また管理車道であるため道路沿いの樹木はたびたび伐採されることから、ひこばえの木が多く、スタートから 1700 m 付近にあるコシアブラはトチノキと見間違ふほどの大きな葉を付けていた。



紅葉する木としてシラキ、カキノキ、ウルシの仲間やカエデ仲間がある。シラキとカキノキ、ハゼノキは、紅葉が見られたが、他のウルシの仲間はほとんど葉が落ちており、カエデの仲間の紅葉はまだであった。

「よく似た木」は、コバノガマズミーミヤマガマズミーガマズミ、ヤマウルシーハゼノキーヤマハゼーヌルデの比較説明を行った。また、ここではサンショウ、カラスザンショウ、イヌザンショウ、そしてフユザンショウと4種類のサンショウの仲間を見ることが出来ることから、これらの比較も行った。



ちょっと変わっていたのは、コースに入って、400mあたりにある植物の集合体である。直径1m、高さ2mほどの一群であったが、ナワシログミとヒサカキが近接して生えているところへアオツツラフジ、ヘクソカズラ、ミツバアケビ、テイカカズラ、ヤマノイモが絡みつき、総計7種類の植物集合体を形成しており、何種類の植物があるかクイズをして楽しめた。

出発地点から1500m辺りの山側では、たまたまオオツルウメモドキが絡みついた木が台風で倒れてきており、手近でそれを観察することが出来た。このすぐ近くで、谷側にイヌザクラとヤマザクラが並んで生えており、都合良く比較する事が出来た。出発地点から2000m付近にトイレがあり、そこへ12時着を目度に観察を進めた。トイレ周辺では、ササクサやイヌザクラがみられ、キチジョウソウも薄紫の花をしっかりと咲かせていた。



キチジョウソウ

トイレからは登山会小屋を過ぎ頂上まで約15分。頂上にて昼食。昼食後グループごとに展望台へ上がり、西方面と南方面の眺望について説明し、つづいて山頂の石碑の前で菊水山の歴史、なぜ菊水山と呼ばれるのかななどを紙芝居を用いて説明した。

昼食後、グループごとに下山開始。スタート地点から1500m付近で、谷道へ分岐して下った。コースは降り口が急な階段で注意が必要だが、それ以降は、しっかりとした緩やかな下り道で岩盤がむき出しになった溪流様の風情を楽しみながら下ることが出来た。

出発地点の管理車道入り口へは、ほぼ定刻の3時前に到着した。ケガや事故などもなく楽しく過ごせた一日であった。今回は、植物の案内だけでなく、眺望の説明や、菊水山の名前の由来とそれに関連した歴史の話も好評であった。今後も植物の名前だけでなくバラエティーに富んだ内容の楽しい観察会を計画していきたいと思う。